

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 石川県河北郡内灘町立清湖小学校
(※正式名称を記載)

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他(例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒920-0272

石川県河北郡内灘町向陽台2-294

E-mail seiko-es@educet04.plala.or.jp

Website <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~seikoe/NC2/htdocs/>

幼児児童生徒数 男子 162名 女子 139名 合計 301名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要(800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、児童の主体的な活動を軸に、自己決定力・自己実践力・自己判断力の育成を目標としている。教科はもとより、委員会活動をはじめ教育活動すべてにおいて実践している。

学習内容については、①環境に係わる学習、②国際理解に係わる学習、③防災に係わる学習、④食育に係わる学習に取り組んでいる。

① 環境に係わる学習

5年 総合的な学習の時間

1・2学期 「お米プロジェクト」4月～12月

・稲作体験や調べ学習を通して、安全・安心なお米作りには、いろいろな苦労や工夫があることを学ぶ。

5年 宿泊体験学習

2学期 「白山の自然を味わおう」10月

・自然体験活動を通して学んだことを、「大発見新聞」にまとめる。

児童会 クリーン委員会 「紙資源の回収」通年

・裏紙ボックス、その他の紙ボックスを設置し、毎週児童が回収する。

6年生 体育(保健)(金沢医科大学病院の教授、学生)

・薬物乱用防止教室を行う。薬物の怖さや進められたときの断り方などをロールプレイ方式で体験する。

② 国際理解に係わる学習

10月～12月

3年総合的な学習の時間「日本と世界の不思議を発見しよう」

- ・ あいさつ・生活様式・自己紹介・発見したことの発信

10月

4年総合的な学習の時間「日本と外国の文化の違いを伝えよう」

- ・ 日本と外国の文化の違いを見つける。
- ・ 外国の小学校と交流する計画を立てる。
- ・ 大好きなところを伝える。

10月～12月

6年生総合的な学習の時間「日本文化大発見」

- ・ 外国の文化を調べる。
- ・ 日本の文化との違いや共通点を探る。
- ・ 新しく発見したことをまとめ、発信する。

③ 防災に係わる学習

5月 火災の避難訓練

6月 不審者に対応する避難訓練 引き渡し訓練

9月 実践的防災教育総合支援事業 地震による避難訓練

11月 休み時間中の避難訓練

12月 地震による避難訓練（予告なし）

1月 集団下校訓練

2月 地震、津波に対応する避難訓練

④ 食育に係わる学習

5月 朝食アンケート

6月～11月 全学年「朝食の内容」について学習

12月～2月 全学年「おやつ働きと摂り方」について学習

① 田植えの様子



② 国際理解の様子



③ 避難訓練の様子



④ 食育教育の様子



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 委員会活動)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ・ポプラディア (書籍)・食育に関する本・国別の紹介本
- ・農協から発行されている稲の情報誌
- ・ネット検索 (稲の害虫、稲の病気、おいしい米の作り方など)
- ・NHKの動画配信サービス「学ぼう防災 津波編」
- ・おやつや朝食に関するアンケート結果資料

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

各教科・総合的な学習の時間のカリキュラムに位置づけ、年度末に実践してきたことを振り返り、内容や時数の改善を行っている。学年ごとにファイルにポートフォリオとして残し、いつでも活用できるように工夫している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

重要事項については、具体的な取組課題を月ごとに設定し、児童と教職員が月に2回評価を行っている。その評価の結果を受けて、新たな課題を設定したり、解決のための具体策を教職員全体で考えたりしながら、共通実践することを大切にしている。PDCAサイクルを取り入れている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

年に2回、児童・保護者・教職員の三者から学校評価として重点事項の取組を検証している。検証結果を受けて、新たに具体的な方策を考え共通理解・共通実践をし、質の向上を目指している。保護者の方々にも、評価結果や今後の対策などについてお知らせをしている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

学級・学年便りや学校便り、ホームページなどで活動の様子や成果などを発信している。地域の方々から、「児童が楽しそうに活動している。」「体験活動は、続けてほしい。」等の意見をいただいた。また、地域在住の外国の方々を招聘し、4年生と6年生が学習発表会を行った。児童達と外国の方々との親睦が深まった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項2-3に対応

金沢医科大学病院の教授・学生による「薬物乱用防止教室」を行っている。たばこやアルコール・薬物などが人体にどのような影響を及ぼすのか、学生が中心となり分かりやすく講義をしてくれている。また、それらのものを進められた際の断り方についてロールプレイ形式での演習も行っている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

時間的余裕がなく、国内外の学校や団体との交流は行うことができていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

児童の意欲を大切にしながら活動・学習をしていくことで、自己決定力・自己判断力や自己実践力がついてくる。さらに、そのことによって児童自身が自信を持ち、自己有用感を高めることができる。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成29年度と大きな変化はない。①環境に係わる学習、②国際理解に係わる学習、③防災に係わる学習、④食育に係わる学習を中心に実践していく。